

The Japanese Journal of PHYCOLOGY

CONTENTS

Sung Min Boo, In Kyu Lee, Jan Rueness and Tadao Yoshida: <i>Aglaothamnion callophyllidicola</i> (Yamada) comb. nov. (Ceramiaceae, Rhodophyta)	301
K. A. Aitken, L. D. Melton and M. T. Brown: Seasonal protein variation in the New Zealand seaweeds <i>Porphyra columbina</i> Mont. and <i>Porphyra subtumens</i> J. Ag. (Rhodophyceae)	307
Hiroshi Kawai: Critical review of the taxonomy and life history of <i>Kjellmania arasakii</i> (Dictyosiphonales, Phaeophyceae).....	319
Shigeo Kawaguchi: Taxonomic notes on the Halymeniaceae (Rhodophyta) from Japan. I. <i>Halymenia acuminata</i> (Holmes) J. Agardh	329
Tatsuro Miyaji, Masahiro Masada and Goro Tamura: Ferredoxin-nitrite reductase from a cyanobacterium <i>Spirulina platensis</i>	337
M. R. Vijayaraghavan and Inderdeep Kaur: Histochemistry and ultrastructure of paraphyses in <i>Sargassum vulgare</i> C. Agardh and <i>S. johnstonii</i> Setchell & Gardner	347
Yoshihiro Shiraiwa, Shin-ya Yokoyama and Akira Satoh: pH-dependent regulation of carbonic anhydrase induction and change in photosynthesis during adaptation of <i>Chlorella</i> cells to low CO ₂	355
Kazuhiro Katoh: Diatom assemblages in a high moor: an observed correlation between species composition and pool size	363
◆◆◆	
Notes	
Ryozo Seto, R. N. Yadava and Shigeru Kumano: Development of short spinous branchlets of <i>Compsopogon aeruginosus</i> var. <i>catenatum</i> (Compsopogonaceae, Rhodophyta)	369
Michio Masuda, Masao Ohno and Gavino C. Trono, Jr.: A taxonomic assessment of <i>Porphyra suborbiculata</i> Kjellman, a food species from the Philippines.....	375
Hirotohi Yamamoto: Observations on the adelphoparasite <i>Congracilaria babae</i> Yamamoto (Gracilariaceae, Rhodophyta) of the Philippines	381
Yasushi Fujimori, Katsuhito Nakamura, Yuichi Maruoka, Tsuneco Matsubayashi and Goro Tamura: Immunological comparison of algal cysteine synthases	385
Mario Tsukidate, Shogo Arai and Junichi Narihara: Morphological features of <i>Ecklonia cava</i> Kjellman from Kadogawa, northern part of Miyazaki Prefecture, Kyushu	(in Japanese) 389
◆◆◆	
Book Review	(in Japanese) 393
Miscellanea	(in Japanese) 394
Abstracts of the 2nd Japan-Korea Symposium on Phycology	399
Announcement	(in Japanese) 415
Japan Science Council News	(in Japanese) 418
Contents of Volume 39	i-iv

日 本 藻 類 学 会

日本藻類学会は1952年に設立され、藻学に関心をもち、本会の趣旨に賛同する個人及び団体の会員からなる。本会は定期刊行物「藻類」を年4回刊行し、会員に無料で頒布する。普通会員は本年度の年会費7,000円（学生は5,000円）を前納するものとする。団体会員の会費は12,000円、賛助会員の会費は1口20,000円とする。

庶務および会計に関する通信は、602 京都市上京区下立売通小川東入 日本藻類学会宛に、また「藻類」への原稿の送付は 184 小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学生物学教室内 日本藻類学会編集委員会宛にされたい。

The Japanese Society of Phycology

The Japanese Society of Phycology, founded in 1952, is open to all who are interested in any aspect of phycology. Either individuals or organizations may become members of the Society. The Japanese Journal of Phycology (SÔRUI) is published quarterly and distributed to members free of charge.

Inquiries and other information regarding the society should be addressed to **The Japanese Society of Phycology, Shimotachiuri Ogawa Higashi, Kamikyoku, Kyoto, 602 Japan.** The annual dues (1990) for overseas members are 7,000 Yen (Send the remittance to The Japanese Society of Phycology at the above address).

Manuscript for publication should be submitted directly to the Editor-in-Chief, **Prof. I. Shihira-Ishikawa, Department of Biology, Tokyo Gakugei University, Nukuikita-machi, Koganei-shi, Tokyo, 184 Japan.**

1991-1992年役員

会 長：有賀 祐勝（東京水産大学）
庶務幹事：庵谷 晃（東京水産大学）
会計幹事：能登谷正浩（東京水産大学）
評 議 員：

榎本 幸人（神戸大学）
福島 博（東京女子体育大学）
井上 勲（筑波大学）
石川依久子（東京学芸大学）
岩崎 英雄（三重大学）
香村 真徳（琉球大学）
喜田和四郎（三重大学）
増田 道夫（北海道大学）
右田 清治（長崎大学）
中原 紘之（京都大学）
大野 正夫（高知大学）
小河 久朗（東北大学）
館脇 正和（北海道大学）
月館 潤一（南西海区水産研究所）
渡辺 信（国立環境研究所）
山岸 高旺（日本大学）

編集委員会：

委 員 長：石川依久子（東京学芸大学）
幹 事：真山 茂樹（東京学芸大学）
実行委員：原 慶明（筑波大学）
岡崎 恵視（東京学芸大学）
渡辺 信（国立環境研究所）
委 員：千原 光雄（筑波大学）
堀 輝三（筑波大学）
加藤 哲也（京都大学）
小林 弘（東京珪藻研究所）
三浦 昭雄（東京水産大学）
大野 正夫（高知大学）
大森 正之（東京大学）
館脇 正和（北海道大学）
横浜 康継（筑波大学）
吉田 忠生（北海道大学）

Officers for 1991-1992

President: Yusho ARUGA (Tokyo University of Fisheries)
Secretary: Teru IORIYA (Tokyo University of Fisheries)
Treasurer: Masahiro NOROYA (Tokyo University of Fisheries)

Members of Executive Council:

Sachito ENOMOTO (Kobe University)
Hiroshi FUKUSHIMA (Tokyo Women's College of Physical Education)
Isao INOUE (University of Tsukuba)
Ikuko SHIHIRA-ISHIKAWA (Tokyo Gakugei University)
Hideo IWASAKI (Mie University)
Shintoku KAMURA (University of the Ryukyus)
Washiho KIDA (Mie University)
Michio MASUDA (Hokkaido University)
Seiji MIGITA (Nagasaki University)
Hiroyuki NAKAHARA (Kyoto University)
Masao OHNO (Kochi University)
Hisao OGAWA (Tohoku University)
Masakazu TATEWAKI (Hokkaido University)
Jun-ichi TSUKIDATE (Nansei National Fisheries Research Institute)
Makoto M. WATANABE (National Institute for Environmental Studies)
Takaaki YAMAGISHI (Nippon University)

Editorial Board:

Ikuko SHIHIRA-ISHIKAWA (Tokyo Gakugei University), Editor-in-Chief
Shigeki MAYAMA (Tokyo Gakugei University), Secretary
Yoshiaki HARA (University of Tsukuba), Associate Editor
Megumi OKAZAKI (Tokyo Gakugei University), Associate Editor
Makoto M. WATANABE (National Institute for Environmental Studies), Associate Editor
Mitsuo CHIHARA (University of Tsukuba)
Terumitsu HORI (University of Tsukuba)
Tetzuya KATO (Kyoto University)
Hiromu KOBAYASI (Tokyo Diatom Institute)
Akio MIURA (Tokyo University of Fisheries)
Masao OHNO (Kochi University)
Masayuki OHMORI (University of Tokyo)
Masakazu TATEWAKI (Hokkaido University)
Yasutsugu YOKOHAMA (University of Tsukuba)
Tadao YOSHIDA (Hokkaido University)

日本藻類学会第16回大会のお知らせ

日本藻類学会第15回大会を下記の要領で開催します。奮ってご参加下さい。

会 場：東京水産大学 〒108 東京都港区港南4-5-7

電話 03(3471)1251(代)

会 期：1992年3月27日(金)] 海苔栽培業見学会
28日(土)

29日(日) 編集委員会・評議員会

30日(月) 口頭発表・総会・懇親会

31日(火) 口頭発表・展示発表

申 込 先：

大会・懇親会・発表の申込票および発表要旨の送付、見学会の申込、その他連絡は下記宛にお願いします。

〒108 東京都港区港南4-5-7

東京水産大学 資源育成学科 大葉英雄気付

日本藻類学会第16回大会準備委員会

電話 03(3471)1251 内線 437(大葉)

FAX 03(3474)2165(発表要旨の送付は受けません)

参加申込：

- 1) 大会参加者は、発表の有無にかかわらず、本誌に綴込みの大会申込票に必要事項を記入して、上記の第16回大会準備委員会宛にお送り下さい。
- 2) 大会参加費4,000円(学生3,000円)、および懇親会費3,000円を同封の振替用紙でお送り下さい。
送金先：郵便振替口座 東京2-604139
日本藻類学会第16回大会準備委員会
- 3) 大会参加申込、送金、下記の発表要旨送付の締切は1992年1月10日です。

発 表：発表を希望される方は、本誌に綴込みの発表申込票に必要事項を記入し、発表要旨の原稿を添えてお申込み下さい(1992年1月10日必着)。

- 1) 発表は、口頭発表と展示発表の2種類があります。希望する方を○で囲んで下さい。
- 2) 口頭発表：発表時間は、質疑応答の時間を含めて15分です。
使用スライドは35mm版、スライド枠には、図1のように発表者氏名、発表番号(大会プログラムに記されているもの)、スライド総枚数、映写順序、上辺マークをご記入下さい。同じスライドを繰返し映写する場合は、それに見合う枚数をご用意下さい。
- 3) 展示発表：パネルの大きさは、1題につき、縦1.8m×横0.9mの予定です。展示パネルの上部には、図2のように発表番号、演題、氏名、所属を明記して下さい。その他のスペースは自由に利用して下さい。
表題には5cm以上、説明文には1cm以上の文字を使用し、文章は必要最小限にとどめて下さい。
展示物の貼出しは、30日午前中にお願ひ致します。

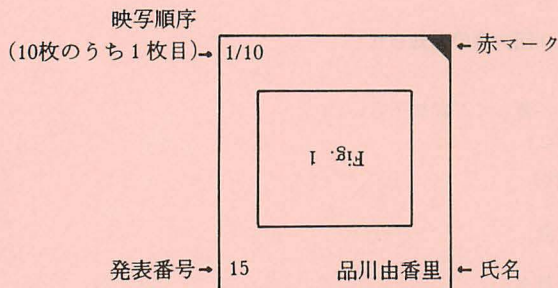


図1. 使用スライド記入例.

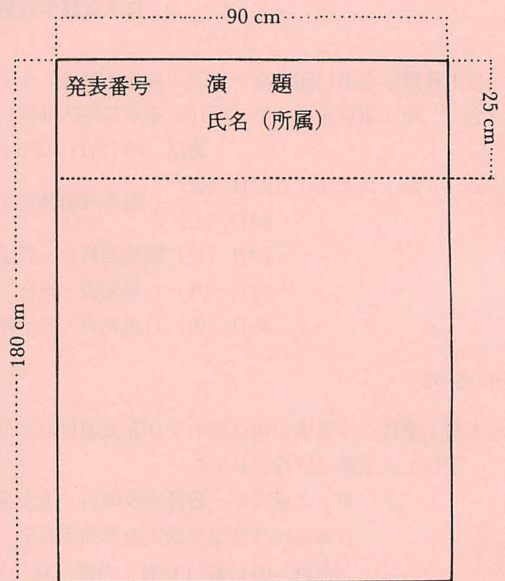


図2. 展示パネル説明図.

- 4) 要旨原稿は、以下の要領・見本にしたがって、タイプライター、ワープロまたはパソコン（24ドット以上の印字）で作成して下さい。
- ①原稿は、B5 用紙（オニオンペーパーなどの薄手の用紙は避けてください）に明瞭な黒色（カーボンリボン等を使用）で印字して下さい。
 - ②原稿は演題等も含めて、縦 150 mm × 横 100 mm の範囲内に24字 × 22行の印字を標準とします（枠で囲まなくて下さい）。
 - ③著者名、演題、要旨本文、所属の順に書いて下さい。
 - ④著者が複数の場合は、演者名の前に○をつけて下さい。また、所属が異なるときは著者名の後に*印を付し、区別して下さい。
 - ⑤1行目は、はじめの3字分（約 12.6 mm）をあけて下さい（発表番号が入ります）。
演題と要旨本文との間は1行分あけ、要旨本文は、はじめの1字分をあけて下さい。
 - ⑥所属は（ ）内に入れて、最下段に表示して下さい。
 - ⑦和文原稿の場合、句読点は「,」（コンマ）と「.」（マル）を使用して下さい。
 - ⑧学名等、イタリックで表示する場合、イタリック文字を使用するか、その部分に下線をつけて下さい。
 - ⑨原稿は約 2/3 に縮小し、そのままオフセット印刷されます。折り曲げずに郵送して下さい。なお、著者校正はありませんので、ご注意ください。

日本藻類学会主催 '海苔栽培業見学会' のお知らせ

下記の要項により、海苔栽培業見学会を開催致します。

1. 期 日：1992年3月27日（金）～28日（土）
2. 日 程：3月27日（金）JR 内房線上総湊駅前に集合
海苔栽培業見学
富津市「鈴孝荘」宿泊
3月28日（土）海苔栽培業見学
JR 内房線大貫駅前にて解散
3. 見学先：天羽漁業協同組合湊のり生産組合
千葉県富津市湊1155
新富津漁業協同組合
千葉県富津市富津2430-1
（社）千葉県のり種苗センター
千葉県富津市小久保3090
4. 参加費：交 通 費 実費
昼 食 費 実費
宿 泊 費 約6,000円
懇親会費 2,000円
5. 定 員：30名
希望者多数の場合には先着順と致しますので、予めご了承下さい。
6. 申 込：参加希望者は、往復葉書に1)氏名, 2)連絡先, 3)所属を明記の上, 1992年1月10日までに, 上記の第16回大会準備委員会宛にお申込下さい。
7. その他：雨具（カッパ）, 防寒衣等をご持参下さい。
なお、日程等の詳細につきましては、追って参加決定者にご通知致します。

要旨原稿の見本

○工藤利彦*・増田道夫**：紅藻ショウジョウケノリの
形態学的研究

日本沿岸各地に生育する紅藻ショウジョウケノリには、
Polysiphonia urceolata (Dillwyn) Greville の学名が与えられてき
た。……

……したがって、本邦産ショウジョウケノリの学
名は P. senticulosa に変更されるべきであると結論された。

(*札幌大・生物, **北大・理・植物)

○Boo, S. M.,* J. Rueness,** I. K. Lee*** and T.
Yoshida****: A New Combination in Aglaothamnion
(Ceramiaceae: Rhodophyta)

Examination of the type specimens of Callithamnion
callophyllidicola and living materials collected from Tyoshi
and……

……between A. callophyllidicola and C. minutissima is
discussed.

(*Chungnam Nat'l Univ., **Oslo Univ., ***

Seoul Nat'l Univ., ****Hokkaido Univ.)

(原稿には枠をつけないで下さい)

日本藻類学会第16回大会申込用紙

大会・懇親会申込票

(フリガナ)

氏名：_____ 所属：_____

連絡先(自宅・勤務先)：☎ _____

発表：する(単独・連名), しない。

懇親会：参加, 不参加。

送金額：(不必要な個所を消して下さい。同封の振替用紙で御送金下さい。)

大会参加費 4,000円 (学生 3,000円)

懇親会費 3,000円 送金合計額 _____ 円

発表申込票

(連名の場合は演者が申込みをし、演者の左肩に○印をつけて下さい)

発表の種類(希望する方を○で囲んで下さい)：

口頭発表, 展示発表。

発表番号(当方で記入します)：_____

氏名(所属)：_____

演題：_____

連絡先：(連名の場合は演者) _____ ☎ _____

